

## Back to おがわぎかい No.98

議会だよりを読んだ感想を議員がインタービュー

どれも大事な  
ことですね島田栄子さん(腰二)  
SHIMADA Eiko

前号の議会だより(No.98)で「読んでよかったです」と思ったのは、どの記事でしたか?

「13の視点一般質問」です。移住して5年になりますが、コロナ禍で、近隣の方達と会って町の情報交換ができない中、「小川町はどうなっているのか?」が読んでわかりました。公共工事に携わっている方達の大変さ。また子どものための家庭総合支援拠点には問題解決のために期待します。

## —議会だよりへ「ひとコト」!

とても読みやすく、町の取り組みや事業などの進捗がよくわかりました。引き続き、安定した提言に期待したいです。

島田さんイチオシの  
記事はP.7～の  
一般質問Gikai's comment 苦労をして編集をした  
甲斐がありました。頑張ります!

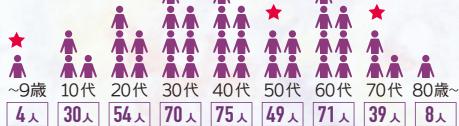
## 次の定例会は

6月8日(火)～

午前10時開会 ※日程は変更になる場合があります。詳しくは議会ホームページへ



議員回 おがわぎかい No.80～  
議員がインタビューした町民さんの数  
聞く× 現在 400人  
(★今号取材)



□□□□□□□□□

町民の声、「聞きます×つながります」

## だから 小川が好き!

町への想いを寄稿していただくコーナー

つい すみか  
終の住処小山愛人さん(深田)  
KOYAMA Abito

春日部から越してきて、間もなく10年になります。  
その前年から家を探していましたが。

あの日、轟音と立っていることもままならず中腰で襖につかり、物が落ち壊れるのを見ながらただ揺れがおさまるのを待つだけ。一瞬にして多くを失うあの震災の恐怖。それから様々な地を見て回り、地盤のしっかりしたこの地を終の住処と決めました。

しかし、のどかに見える深田区にも長年負担が増え続ける下水処理問題がありました。このほどやっと住民の念願であった公共下水となる見通しがつき、多くの課題は残っているものの、さらに安住の地となるよう願っています。



## ・今号の表紙・

## 朝の八和田小学校校庭

子どもたちの笑顔と青空は  
お似合いです。

## 編集後記

「共同戦線」仰々しい言葉だが僕にはしっくりとくる。1冊の議会だよりを仕上げるまで、意見はぶつかり合い、険悪なムードになることもしばしば。かなりの時間と労力を費やし、編集作業を終えた頃にはへとへとに。しばらく経つと「あの特集記事、読みましたよ」の声。疲労感が魔法のようにフワッと消えてゆく。悲喜こもごも。先輩議員もこうやって乗り越えてきたのだろうか。次号「おがわぎかい」は100号を迎える。(笠原規弘)

発行責任者：小川町議会議長 大戸久一

編 集：議会広報発行特別委員会

委員長 高橋さゆり 副委員長 笠原規弘

委 員 笠原英彦・高橋功人・笹本孝幸・五十嵐康博

UD  
Font

高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD(ユニバーサルデザイン)フォントを使用しています